

Title	北京大學圖書館所藏の基本概況
Sub Title	
Author	宮島, 貞亮(Miyajima, Teisuke)
Publisher	三田史学会
Publication year	1937
Jtitle	史学 Vol.15, No.4 (1937. 2) ,p.156(668)- 156(668)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19370200-0156

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

北京大學圖書館所藏の善本概況

國立北京大學は國立清華大學と共に中國學生の渴仰の的となつてをり、其の附屬圖書館は共に大學圖書館としては最高峰に位するものである。北京大學は光緒二十四年、高師大學堂の名の下に勅命により創立されたものであるから、殆ど四十年に亘る歴史を有してゐる。

又北京大學最初の圖書館は光緒二十八年の藏書樓に始まつてゐるから、これも三十數年の歴史を有してゐる。そして北大圖書館は從來陋屋で大學圖書館と稱するに足りなかつたが、數年前より新館の工事に着手、去年竣工を見るに至り、今や外觀は全く一新され、内容も漸次充實されようとしてゐる。此時に當り北大圖書館所藏の善本につき略述しても徒爾なことではないと思ふ。

北大圖書館所藏の中文書籍は十五萬餘冊に達してをり、得易くない珍貴な版本も少くない。光緒三十年に巴陵の方氏が其藏書を北大に捐贈したのが北大善本の主幹部分となつてをり、善本は明版が主となつてゐる。そして明版の中、相當充實してゐる文集方面の敘述は之を省き、史料方面から敘ぶることとする。先づ第一に明鈔本(寫本)皇明實錄を挙げなければならぬ。此書は北平圖書館所藏の皇明實錄より不完全であるが、神宗實錄(原五百九十四卷)存二百二十七卷八十一冊の如き原鈔本もあり、充分誇るに足るものと思ふ。

次に明代經世の論に關し、皇明經世文編(五百四卷、補遺四卷、姓氏爵里一卷、明陳子龍等選輯崇禎十一年平露堂刻本、共八十冊)一部を藏してゐる。此書は中國に於ても甚だ罕に見る書で、上海徐家匯天主堂に一部あるにすぎず、又かの藏書家で版本學の權威である傅沅叔も殘本を有してゐるにすぎない。

次に明朝と滿洲との戰爭に關しては、孫承宗の撰した督師奏疏(十六卷三十二冊)は頗る珍貴な史料といはれてゐる。

次に方志方面に關しては、劉文徵の撰にかゝる溟志(三十三卷、二十八冊)がある、此書は明天啓間の鈔本で、萬曆年間趙士楨の纂した神器譜(四冊)と共に北大の誇りとするものである。

此等の外、晚清史料の要書ともいふべき内閣官報を所藏してゐることは特筆に値する。(昭和十一年十一月、宮島貞亮)